



2018年6月25日

各位

株式会社リボルナバイオサイエンス
三菱UFJキャピタル株式会社

株式会社リボルナバイオサイエンスがシードラウンドにおける第三者割当増資を実施

遺伝性希少疾患の領域に特化した研究開発型ベンチャー企業である株式会社リボルナバイオサイエンス（代表取締役：富士晃嗣、所在地：神奈川県藤沢市、以下、「当社」）は、このたび武田薬品工業（以下、「武田薬品」）、ならびに三菱UFJキャピタル株式会社が運用するファンド*1を引受先とする第三者割当増資により、総額2億5,600万円の資金調達を実施しました。本資金は、主に武田薬品よりライセンスされた脊髄性筋萎縮症（SMA）の治療薬候補（TEC-1）の研究開発および、その他の前臨床アセットの研究開発を行うために用いられます。

上記に加えて当社は、武田薬品より充実した研究開発サポートを受けており、既に武田薬品の湘南ヘルスイノベーションパーク（以下、「湘南アイパーク」）に入居し、事業を開始しています。

当社創業者で代表取締役である富士晃嗣は、「この度の資金調達により、SMAを初めとする当社の遺伝性希少疾患治療薬の研究開発プログラムを迅速に進めることが可能になることを嬉しく思います。当社の創薬技術はこれまでの技術で不可能とされてきた低分子化合物によるリボ核酸（RNA）を標的とすることを可能にし、今後、遺伝性希少疾患に苦しむ患者様とご家族に、根本治療薬となる新薬の提供を目指します。また、当社の最先端創薬技術を、湘南アイパークで実現できることを大変喜ばしく思っております。」と述べています。

湘南アイパークのジェネラルマネージャーである藤本利夫は、「リボルナバイオサイエンスの理念は、革新的なパートナーシップや技術を、患者さんにとって意義あるヘルスイノベーション創出へとつなげるという湘南アイパークの理念に沿ったものです。我々はリボルナバイオサイエンスをサポートし、一日も早く同社の革新的な技術による製品が患者さんに届くことを願っております。」と述べています。

以上

*1 三菱UFJ ライフサイエンス 1 号投資事業有限責任組合(以下「ライフサイエンスファンド」):
創薬等のライフサイエンス分野への活性化へ寄与する目的で、2017 年 2 月に三菱UFJ 銀行および三菱UFJ キャピタルが共同でライフサイエンスファンドを組成。ファンド総額 100 億円、期間 12 年。バイオベンチャー企業投資にとどまらず、アカデミア創薬、製薬会社の自社開発プロジェクトやカーブアウト案件への投資にも注力。

本件に関するお問い合わせ

株式会社リボルナバイオサイエンス 経営企画室 0466-32-1124

info@rebornabiosciences.com

<http://rebornabiosciences.com>

三菱UFJ キャピタル株式会社 企画部 03-5205-8581